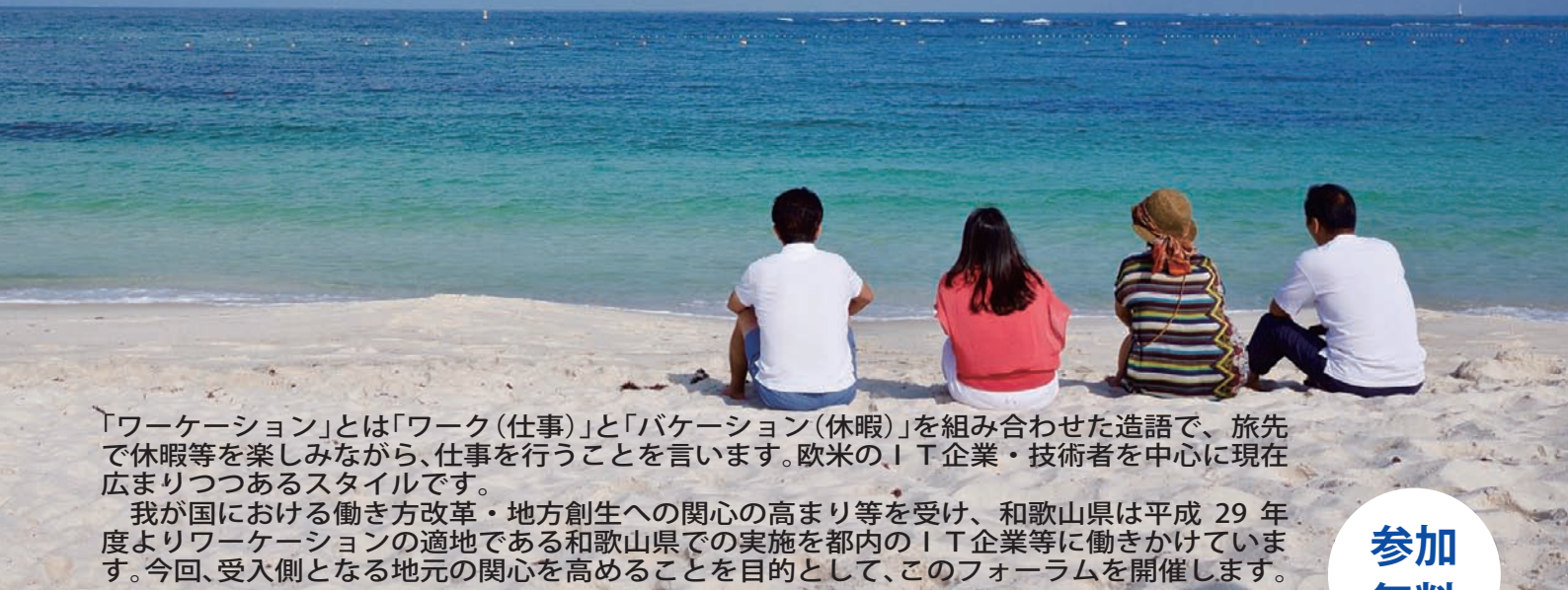




ワーケーション・フォーラム in 和歌山



「ワーケーション」とは「ワーク(仕事)」と「バケーション(休暇)」を組み合わせた造語で、旅先で休暇等を楽しみながら、仕事を行うことを言います。欧米のIT企業・技術者を中心に現在広まりつつあるスタイルです。

我が国における働き方改革・地方創生への関心の高まり等を受け、和歌山県は平成29年度よりワーケーションの適地である和歌山県での実施を都内のIT企業等に働きかけています。今回、受入側となる地元の関心を高めることを目的として、このフォーラムを開催します。

参加
無料

日時 2018年1月19日(金) 13:30～17:05 (13:00開場)
会場 和歌山県立情報交流センター ビッグ・ユー 多目的ホール
(和歌山県田辺市新庄町 3353-9)
定員 100名

■基調講演

『テレワーク社会におけるワーケーション』

講師 松村 茂氏：東北芸術工科大学教授（日本テレワーク学会会長）

■和歌山県の取組の説明

『和歌山県が示す未来へのアプローチ ～ワーケーション～』

講師 天野 宏氏：和歌山県情報政策課長

■パネルディスカッション

『ワーケーションと日本・和歌山の未来』

ファシリテーター 松村 茂氏：東北芸術工科大学教授（日本テレワーク学会会長）
パネリスト 浦 聖治氏：クオリティソフト株式会社代表取締役
福家 智氏：日本航空株式会社人財戦略部部長
水野雅弘氏：株式会社トゥリー代表取締役
山本裕介氏：グーグル合同会社ブランドマーケティングマネージャー

主催 和歌山県情報化推進協議会（WIDA）
後援 総務省近畿総合通信局、和歌山県、近畿情報通信協議会、
公益社団法人和歌山県観光連盟、白浜町

※申請中を含む

講師のご紹介



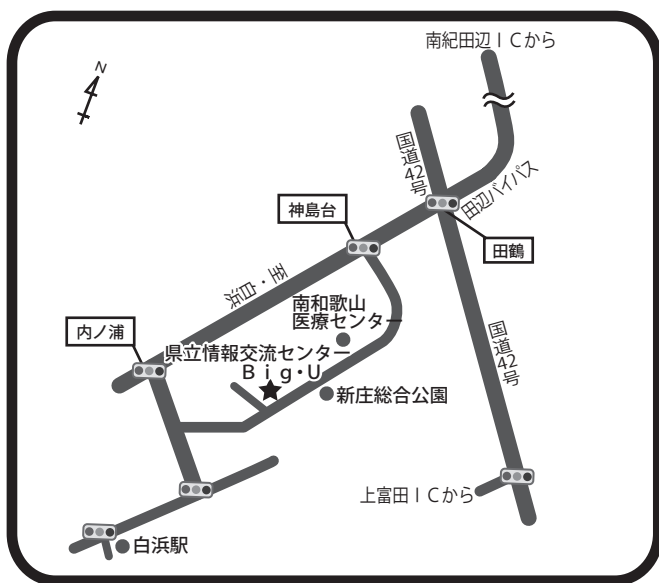
松村 茂氏

1959年東京都生まれ。

東京大学大学院博士課程修了（都市工学）、東京大学先端科学技術研究センター助手を経て、現職。日本テレワーク学会会長、東北都市学会会長、テレワーク推進フォーラム副会長、一般社団法人日本テレワーク協会アドバイザー、厚生労働省柔軟な働き方に関する検討会座長等を務める。テレワーク社会の構築に向けて東京と山形を拠点にテレワークを実践しながら研究・普及推進に取り組む。平成29年度情報通信月間推進協議会会長表彰情報通信功績賞受賞。

主な著書に『マルチメディアが地域を変える』（電通）、『地域の価値を創る』（時事通信社）など。近著に『テレワークで働き方が変わる!テレワーク白書2016』（一般社団法人日本テレワーク協会編）がある。

会場へのアクセス



和歌山県立情報交流センター ビッグ・ユー 多目的ホール

(和歌山県田辺市新庄町3353-9)

TEL:0739-26-4111)

- 電車で
JR
白浜駅
- 飛行機で
紀南白浜空港
- 自動車で
阪和自動車道
上富田IC

タクシー
約6分

タクシー
約24分

約10分

和歌山県立情報交流センター ビッグ・ユー

※時間は目安です。

参加申込書

お申込み方法

下欄に必要事項をご記入のうえFAXでお申込みいただくか、下欄の内容を明記のうえ、E-mailでお申込みください。

締め切り

2018年1月18日（木）12:00まで

お申込み先

FAX: 073 - 428 - 2688 E-mail: info@wida.jp

ふりがな お名前	企業・団体名 (個人の方はお住まいの市町村名)	電話番号

【お問合せ先】和歌山県情報化推進協議会事務局 (NPO法人市民の力わかやま内) TEL: 073 - 428 - 2688